

# ピカいちさん 「約束の3 お年寄りの幸せ」



絵・長女 瑛子

## 「新たな決意」本気の本気

9月17日新座市記者クラブにおいて記者会見を行い、12月19日実施される三芳町町長選挙への出馬表明をさせていただきました。  
 今年は町政施行40周年の節目、11月3日の町民の日式典は、コピ

スミよしにて盛会に開催され、式典終了後、新たなまちづくりへの決意を胸に、議員辞職を提出し受理されました。  
 3年半、多くの皆さま方にご支えいただき、心から感謝申し上げます。今回の辞職は、私の「本気」の思いを知っていただくためでも

あります。出馬表明してから、多くの住民の皆さまのお声をお聞きすればするほど、現町政を刷新しなくてはいけないと強く感じています。  
 本気です！ 皆さんとともに現町政を変え、新しい三芳町をつくりましょう!!

## 編集後記

この国はどこに行くのか。昨年、政権交代が行われ、新たな政権に期待が高まっていました。しかし、政治と金の問題は依然解決されず、尖閣問題に象徴されるように、政権与党の「政治主導」も政治家の「無責任化」を加速させているように見えます◆「一身の独立なくして一国の独立なし(国民一人ひとりが独立しなければ、国家の独立などありえない)」。日本が近代国家を作る過程で精神的な影響を与えた福沢諭吉の言葉が思い返されます。彼は私学・慶應義塾の創始者で、「民」であること、「私立」であることに誇りを持ち続けた人です。今ほど彼の言う「独立自尊」の精神(他に頼ることなく、自らの尊厳を自らの力で守ること)が必要とされる時代はないかと思えます◆自治体も地方自治の精神に則り、住民の自主性や自立性によって責任をもって運営されなければなりません。私たちの町は私たちが創っていく……これが、民主主義の基本的な考え方です。それゆえ今回、私は特定の政党の支持は受けず、住民主役の町政を目指しています◆福沢は「国を支えて国に頼らず」ともいっています。真の協働のまちづくり、住民主役のまちづくりを進めていく上で、今一度、福沢が日本という国に託した思いに耳を傾ける時ではないでしょうか。

# 林いさお通信

No.70 平成22年11月



ピカいち!!の  
まちづくり

林いさお後援会事務所

〒354-0045 埼玉県入間郡三芳町上富1003 TEL 049 (259) 2228 FAX 049 (258) 0968

林いさお公式ホームページ <http://www.isao.bz/>

ピカいち!!の3つの約束 その3  
お年寄りが憩えるふるさとに

風や陽射しが  
縁側に  
腰をかけて  
目を閉じていると  
風や 陽射しが  
体はどうだい?  
少しは庭でも歩いたら?  
そっと 声をかけて  
くるのです  
がんばるぞ  
私は心のなかで  
そう答えて  
ヨイショと  
立ちあがります

もうすぐ百歳になろうとしている柴田トヨさんの詩です。  
この詩を読むと、倒れて半身不随となってしまった祖母を思い出します。病院から退院後、家でリハビリをしながら、いつも縁側のロッキングチェアで日向ぼっこ……。14年間、廊下の隅から庭の草木を眺め、家族を見守ってくれていました。  
懸命に杖をつく後ろ姿を思い出すと、今も「がんばるぞ!」の声が聞こえてきそうです。  
二度とない人生を  
誰しも心豊かにいきいきと過ごせる町に  
三芳町をそのような町にしたいと心から思っています。



未来  
開拓宣言!  
やります! 明日の三芳のために!





三芳町でも少子高齢化が進んでいます。65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合(高齢化率)が21%となり、超高齢社会を迎えました。家族のため、地域のため、長年頑張ってきたお年寄りの皆さま。その長年のご苦勞にほんとうに頭が下がります。ぜひ、楽しく充実した実りある日々を送っていただきたい、そう願わずにいられません。一人ひとりのお年寄りが、三芳の豊かな自然の中で、心豊かにいきいきと安心して暮らせる町をつくりたい。主要施策の幾つかを紹介します。

# 1 お年寄りが元気な町

## 1-① 新たな公共交通で、高齢者の「足」を確保します

お年寄りとお話をするなかで、ご希望の最も多いのは、出かける時の足となる公共交通網の整備です。住民意識調査(「三芳町住民意識調査報告書」平成22年6月)でも、今後力を入れるべき都市整備分野の施策では、「バスなど交通網の整備」が47.1%と最も多い回答となっています。お年寄りが元気にいきいきと暮らすためには、新たな公共交通の整備が緊急の課題です。いままでの路線バスであるライフバスのほ

か、デマンド型のバスや乗り合いタクシーなどの実現に向け、住民参加の検討委員会で早い時期の導入を目指します。

※デマンド型とは、利用者が少なく、路線バスでは採算が合わない地域に公共交通を確保するため、小型バスやタクシー車両を利用し需要に応じた運行を行うものです。



加須市におけるデマンド交通の例

## 1-② 単身高齢者の安否確認システムを調査研究します

今年、高齢者の所在不明が大きな問題になりましたが、ここ数年、独り暮らし高齢者の増加に伴って、「孤独死」の増加が社会問題としてクローズアップされています。孤独死の背景には、高齢化や核家族化、また近隣地域住民との関係の希薄化、失業やリストラ、離婚の増加など、さまざまな要因が絡み合っていると考えられます。

現在、地域では、民生委員の方が活動されていますが、見守り活動の負担を軽減し、単身高齢者の孤独死を防ぐために、赤外線センサーによる安否確認システムの導入を調査研究します。

※住戸に取り付けたセンサーで居住者の異変をキャッチし、見守り役の住民が駆け付け

安否確認システム。横浜市栄区の公田町団地で実績を上げています。

## 1-④ 障がい者も安心して住み続けられる町をつくりたい

「三芳町障がい者福祉計画」(平成22年3月発行)では、家族や関係者へのアンケートによると「障がい者福祉施策の充実」で求めるものは、「働く機会の充実」が50.3%と最も多い結果となりました。三芳町障がい者就労支援センターが開設されましたが、十分に機能していません。障がい者の声を尊重し、情報発信やネットワーキングづくりなど就労支援センターを充実させます。また農業への就労など三芳らしい事業や施策の調査研究を行っていきいます。

# 2 農に親しむ、緑豊かな町

住環境をとりまく緑の存在は、暮らしに潤いや安らぎを与えてくれます。また、防災やヒートアイランド対策、美しい景観の創出、生態系の保全といった役割もあり

ます。

首都圏30キロメートル圏内で、三芳町の三富新田が「日本の里100選」に選ばれています。三芳町は三富新田に代表されるよう

グラフ1 ● 東京都における農業体験農園数の推移



出典「東京農業のすがた」

に農と緑が調和した町。これらに後世に残し、「住んでよし、訪れてよし」の町にしていきたいと考えます。

## 2-① 誰でもいつでも農に親しめる町にします

昨年、練馬区の農業体験農園園主会が日本農業賞を受賞しました。充実した余暇活動、土に触れ、作物を作る楽しみ、新鮮で安心・安全な作物が手に入るなど、体験農園、市民農園の需要は増えていきます（別表参照）。

三芳は首都近郊で農業が盛んな町です。「農業の町・三芳」を実現するため、体験農園、市民農園の

開設を支援し、農に親しむスローライフをめざします。おいしい三芳の野菜が食べられる直売所を設置し、三芳野菜のブランド化をはかります。

## 2-③⑤ 三富新田で世界一の「いも掘り大会」

三富新田（三芳町上富、所沢市中富、下富）は、「日本の里100選」に選ばれた素晴らしい所です。当地で収穫される「富の川越いも」は、全国的にも著名な物産です。三富の地割り遺跡で、日本一の長い畝（うね）でもいも掘り大会を行い、ギネスにチャレンジします。

町の観光資源を発掘・活用し、「住んでよし、訪れてよし」の町をつくるため、歴史、景観、産物など三芳の観光資源を有機的に結びつけ、町長自らトップセールスをいたします。



いも掘りを楽しむ地元の子どもたち

表1 ● お年寄りが憩えるふるさとに

## 1 お年寄りが元気な町

- ① 新たな公共交通で、高齢者の「足」を確保します
- ② 単身高齢者の安否確認システムを調査研究します
- ③ いつも元気で健康でいられる町にします
- ④ 地域医療が充実した町をつくります
- ⑤ 障がい者も安心して住み続けられる町をつくります
- ⑥ 都市交通マスタープランを策定します

## 2 農に親しむ、緑豊かな町

- ① 誰でもいつでも農に親しめる町にします
- ② 農・商・工連携により地域経済の活性化に取り組みます
- ③ 三富新田で世界一の「いも掘り大会」を開催します
- ④ 心のふるさと、平地林を守ります
- ⑤ 「住んでよし、訪れてよし」の町にします

## 2-④ 心のふるさと、平地林を守ります

三芳町は、首都近郊の緑のオアシスです。しかし、50年前には307ヘクタールあった山林面積は、平成17年の調査（「農業センサス」）では、96ヘクタールと、3分の1以下に大きく減ってしまいました。また、平成19年度には448本あった保存樹木も、平成21年度には392本に減少しています。

住民に潤いを与える、緑豊かな環境を後世の子どもたちに残すため、

めに、三富新田、こぶしの里等の平地林や身近な保存樹木を保全します。また、開発による樹林、樹木の損失を最小限にし、生態系に配慮して植樹するなど新たな取り組みを導入します。



緑豊かな三芳町をつくるため、グリーンウェイブ2010に賛同し、植樹を行いました